

今朝のオックスフォードは 4℃と肌寒い中でしたが防火訓練開始の 8 時前にはほぼ全員が玄関前に集合してしまいました。本来であればアラームが鳴った後に全員が一斉に外に避難する流れになっていましたが、時差の影響もあり早朝にはすでに目が覚めていた生徒も多く集合時間前には集まることができました。まずはグループリーダーの案内のもと朝食会場へと徒歩で向かいました。道中には歴史ある石造りの建築物が次々と現れ中世イングランドの世界が生徒の前に広がっていました。

今日から本格的に研修が始まります。午前中は最初に大学スタッフによるオリエンテーションが行われました。現在オックスフォード大学には学部生が約 2 万人在籍しており、その中には 140 ヶ国からの留学生が約 4700 名含まれます。なおオックスフォード大学は 39 の大学が集まり、今回研修センターとして利用しているハートフォードカレッジはその中の 1 つになります。そしてオックスフォード大学の教育の特徴として、チュートリアルシステム(個人指導方式)について説明がありました。このシステムでは、週に 1 回教授 1 人に対し生徒 2、3 人で課題について討論し自分の意見を主張したり、別の考えを受け入れたりしながら、深い議論を行います。実はオックスフォード大学のその高い学問的水準を維持し続けている理由はそこにあるのです。生徒たちにとって大学を選ぶ基準が何なのかも深く考えさせられる貴重な時間にもなりました。

その後は前橋高校の生徒のために特別にウェルカムティーが食堂で開かれました。そこには大学スタッフも加わり、スコーン、ケーキ、イングリッシュティーを味わいながらチャットをしていくブリティッシュスタイルで歓迎してくださいました。

その後はクリス先生によるワークショップが行われました。クリス先生は主に留学生に英語を教えています。実は前高生へは第一回目から指導をしてくださっていて前高生の気質なども把握しております。今回最初にプレゼンテーションに向けてのワークショップを行いました。実際に使える表現方法などレクチャーしていただいた後は小グループに分かれてテーマに沿って早速生徒には実践練習を行ってもらいました。とにかく話すことに重点を置いたこのワークショップでは最初は戸惑いもありましたが、徐々に慣れてきて相手に伝えるためには何が必要なのかを実践を通して身につけてもらいました。

夕方はロンドン大学の紅林秀和氏にお越し頂き「グローバルな人材」について 2 時間ほど講演をして頂きました。紅林氏は東北大学からケンブリッジ大学博士課程を卒業され今はロンドン大学でナノテクノロジーの研究者として活躍されています。紅林氏からはこれから生徒を待ち受けている社会でグローバル人材として必要なものを実際の経験をもとに生徒目線で分かりやすく説明して下さいました。

夕食後は再びクリス先生によるワークショップが行われました。ここではディベートスタイルで「安楽死」について討論を行って行きました。最初にディベートの重要事項をレクチャーしてもらった後に小グループにわかれて最初は簡単で身近なテーマでディベートの練習を行い。最後に今世界でも注目されている「安楽死」について 2 グループに分かれて本格的に討論を行って行きました。クリス先生の白熱教室となったワークショップは 22 時近くまで続き、終了間際の生徒たちは気力体力ともに限界を感じている様子ではありましたが、逆にとっても充実した表情でもありました。

明日は終日ケンブリッジでのサイエンスフェスティバルの見学研修となります。今晚もしっかり休むよう伝えて解散いたしました。

本日の報告を終了いたします。

大学周辺



大学の食堂



ウェルカムティー



ハートフォードカレッジの中庭にて



クリス先生のワークショップ（プレゼンテーション）



紅林氏の講演

